

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 139 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2023 年 05 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

ひらけた森そしてキンラン

4 月の定例作業日(4/25)は、

朝は少々冷え込んでいましたが、陽射しが出て、汗もかきました。それでも 4 月下旬のこの日は例年のようにキンラン・ギンランも見られ、最高の作業日和となりました。

当日の参加者は 17 名。林内作業班 9 名、ゴミ拾い班 8 名。林内班は、第二駐車場付近での作業。ゴミ班は、東西通りをキンランギンランを見ながら進み、東京狭山線シェルター北側で、予想外に成長しているオオブタクサを抜き、サッカー場からキンランを満喫しながら湿地へ向かい、霊園通りを往復してサッカー場手前まで戻り、新園路脇に群生するギンランを眺め、新園路を戻りました。コース記号は、イ・K・L・I・F・G・O・P'・a・a'・i・ロ・C・U・C・i・k・l・m・n・K となります。

なお、湿地はカラカラでした。作業終了後に、3 年ぶりに行った昼食会は、盛り上がりましたねー(*^▽^*)ﾌﾌﾌ♪。



[4/25 集合写真]

まずは水島さんからです。

『前回の 3 月 28 日の冷たい雨の降る活動日とはうって変わって、暖かい春の日差しがありました。』

新緑のまぶしい若葉の中をゴミ拾い班は 8 人でスタートしました。

芽の吹いた若葉も日に日に濃くなってきていて、みずみずしい立木の茂る緑陰のもとを歩くのはとても気持ちの良いものです。

ゴミは狭山線沿いもあまりなく、ゴミ袋にペットボトルもコヒーの空き缶も一つも入りませんでした。

こんなに少ないのは初めてで良いことです。(4 月の上旬のゴミ拾いでかなり集めたとのことでした) その代わりにブタクサ取りにはひと苦労しました。まだ生えかけたばかりの草ですがかなり群生していて、腰をかがめてむしり取るのですが背中に汗を感じてジャケットを脱ぎました。そして腰に痛みが来ました。

GOOGLE 先生によると、ブタクサは北米が原産地で「要注意外来生物」に指定されており、成長すると 30 cm～120 cm にもなるようです。

そういえば何年か前に大きく

なった「オオブタクサ」を取ってえらく汗をかいたことを思い出しました。放置しておくと夏から秋にかけて花をつけてそれが飛んで花粉症の大きな原因になるようです。

でも歩いていると、キンラン、ギンランが見られ、特にキンランはやや大きめ目のものも見つかり心を慰めてくれました。

湿地に水はありませんでしたが、中を歩くと緑に囲まれたこの景色がいつもと変りなく私たちを出迎えてくれたなと嬉しくなります。

今回の活動はまた鳥の声を聴きながら新緑をたっぷりあびて歩きたいと思いました。』



[04/25 オオブタクサ除去に挑戦]



[04/25 キンラン]



[4/25 ゴミ拾い班]

次いで、**三浦さん**からの報告です。

『ついこの間まで新緑のまばゆかった森も、毎日に濃い緑に変わりつつあるようだ。一寸肌寒さだったが程よい作業日和となった。集まったのは「ママ友」の女性が1名加わって17人。集合写真ではカラフルなジャンパー姿の女性陣が華やかな演出をしてくれる。班分けは園内巡回8人、林内班9人。林内班はリヤカーに必要な資器材を満載し、桜木神社通り近くに休憩地を設けた。林内を行き来しているうちに出来た自然の小径が緩やかなカーブを描き周りの景色に馴染んでおり通って気持ちが良い。作業もいよいよ山場を迎える、僅かに残る部分の伐採、ここが切り開かれれば一気に景色が変わるはず。各自必要な用具を携えそれぞれの場所で作業が始まった。藪を伐採する人、それを運んで集積する人、下刈りをする人、玉切りする人それぞれだ。やがて作業が進み風が林内を吹き抜け頬をなでようになると爽やかさも加わってか気持ちが良いそうだ。

休憩を挟んで約1時間半で作業は終わった。「とうとうやったね!」と感動の声も上がる。ようやく想いの一端が叶った

「たかが人力、されど人力侮るべからず」とはいえ誰もが当初からここまでやるとは思ひもしなかったはず、それだけに各自各様に「達成感」「充実感」を味わったのではないだろうか!

顧みれば2017年6月27日に着手し6年目となる。かつてのあの常緑樹が覆い被さり鬱蒼として入る込む事さえ躊躇された当時の様子から到底想像できない変貌を遂げたのだから。

今後の予定だが、再び最初の地点に戻ろうかと考えている。どんな作業をするか皆と協議して決めたい。

最後に、林内作業における喫緊の課題を述べたい。それは市への要望です。市が行っているナラガレ病対策だけでなく、樹齢の古い樹木の立ち枯れ対策についても是非検討願いたいことです。樹齢の古い大木に蔦が絡み梢まで伸び遠目には分からないが近くで見るとく明らかに枯死しているのが分かる。このような樹木が林内に散見されておりかねてから心配してきた。自然環境保全型の公園をめざす都市計画に変更されたものの、手入れが行き届いていないこともあり森全体の老齢化が進行中です。この状況を抱えつつ、我々のこれまでのやり方で良いのだろうかと常に「不安とジレンマ」を抱えてきた。いつ突然倒壊や太枝の落下による怪我など不測の事態が生じかねないことから懸念してきました。ついては市による早い対策を切に願ひ

たいと考えます。』



[4/25 林内作業-1]



[4/25 林内作業-2]



[4/25 林内作業班]



[4/25 ゴミ集約ー林内ごみ含む]

~~~~~ 4月の第二作業日(4/11)、

この日は晴れ上がり初夏の陽射しでした。当日の参加者は20名。林内班12名、ゴミ班8名で作業。

林内班は第二駐車場周辺での作業。ゴミ班は、東西通り(坂の途中・突き当りでかなりのゴミ)～東京狭山線沿い(ここでもゴミ)～サッカー場～予想外のゴミの多さに深澤のみりヤカーを取りに引き返す～湿地～霊園通り(懸案の藪奥のゴミを回収)

～ここでリヤカーもいっぱいになり、11時も回ったので、新園路から中央通りに出て、旧管理棟へ戻り仕分けをしました。

コース記号は、イ・K-L-I-F-G-O-P'-a-a'-i-ロ-C-U-C-i-j-L-K となります。

なお、湿地には水がなく、かなり乾いてました。



[4/11 集合写真]

林内班の**三浦さん**からの報告です。『予報では最高気温 25 度とのこと。今春は暖かい天気が続いたせいか様々な草花の芽吹きが早い、辛夷に始まり、梅、桜と例年と比べ 1 週間から 10 日程早かった。』

向かう道すがら「スプリングエヘメラル」に出会えるかもと期待し、昨年キンランが咲いていた場所へ行ってみると既に何株か咲いていた。昨年 4 月 27 日だったからやはり早い。今日は第二活動日、集まる人は少ないだろうと思っていたが 20 人と多かった。理由は次の定例活動日は参加出来ないので今日にしたという企業から 7 人が加わったこと。この企業の延べ人数は今日で 64 人目となる。

高齢者揃いの中にあって 30 代、40 代の若い世代の参加は貴重な存在だ。毎回今日は何人来るかな？と心待ちするようになっている。いつも若さを発揮

し期待以上の活躍をしてくれるので彼らの参加、不参加の影響は大きいから尚更だ。会社名を出し称えたいがタブーとされており控えざるを得ない。

準備体操、集合写真、班分けは園内巡回班 8 人、林内班 12 名と両班潤沢な人数でスタートとなった。林内班の作業地は、前回の続き、第二駐車場から桜木神社通り方向の一带だ。前回の作業の時は橙色の網による囲いがしてあったが、この日は高さ 1m 程度の杭とロープ柵に変っており立入り禁止看板も追加されていた。簡単に乗り越えられそうでこれで大丈夫かなと一寸不安を感じた。この日は着手前に全員で残りの部分を見た上で作業を始めることにした。

予定では 3 月末までには目処が付くだろうと思っていたが、殊の外手間取った。面積も広く、多くの落下枝、とりわけ大口径の倒木の処理と運搬に時間がかかったことが主な理由だ。こうした事情から市に了解をとり新たに集積地を用意した。運搬距離が短くなった分案になり進捗度は早まると思ったからだ。作業は幹枝葉を集めて運搬するグループ、チェーンソーによる玉切り、刈り払い機 3 台による下刈り、人力による藪の伐採の四つのグループに分かれての作業となった。気温の上昇もあって汗ばんだが皆の頑張りのお陰で捗り、見通しのきく明るい林に変貌した。ようやくあと一歩のところまでこぎ着けられた

この日の作業だった。

この日気づいたこと、まだ生きているコナラの大木が根ごと傾き他の木にもたれていたこと、それと子供達で作った創造の賜とも思える「基地」は片付けられ跡形も無かったこと。』



[4/11 林内班]



[4/11 林内作業-1]



[4/11 林内作業-2]



[4/11 林内作業-3]



[4/11 ゴミ拾い班]



[4/11 ゴミ拾い(掘り出し?)]



[4/11 リヤカーにて]



[4/11 ゴミ集約]

5月の作業予定

定例作業日: 5月30日(火)

第二作業日: 5月11日(木)

作業時間: 9:30~11:30

* 作業内容:

ごみ拾い・林内作業

* 持ち物: 手袋、タオル、雨具、
飲み物、念のため、保険証・
お薬手帳など

5/30 は弁当(作業終了後昼食会)

荒天など天候不順の場合は、
事前に中止連絡しますが、微妙
な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで
[090-8014-3310]連絡下さい。

感染予防対策、

- ・ 間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・ マスク着用: 各自の判断とします。
- ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
- ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。

なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

- ・ 定例作業日の食事会については、定例作業日に実施します。

6月以降の作業予定日-

6/13(火) 6/27(火: 定例) 7/11(火) 7/25(火: 定例)

8月は現場作業を休止します。 8/29は応援隊懇談会を実施します。
懇談会後の納涼会実施については、状況を見て判断します。

9/12(火) 9/26(火: 定例) 10/12(木) 10/31(火: 定例)

11/14(火) 11/28(火: 定例) 12/12(火) 12/19(火)

終了後の忘年会については、状況を見て判断します。

2024年

1/11(木) 1/30(火: 定例) 2/13(火) 2/27(火: 定例)

3/12(火) 3/26(火: 定例)

*3月の中～下旬に応援隊の総会的懇談会を実施します。

新型コロナ発生時の対応策

①毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成し、代表が保管する。

②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)

イ. 症状があり、検査を受けた時。

ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示

③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。(不要となるかも)

*5/8 以降の、国の基準変更に伴い、変更を検討します。

「所沢カルチャーパークを考える未来会議」に向けた”予備会議”が開かれました。

4/28 午前、市役所において表記の打ち合わせが行われました。

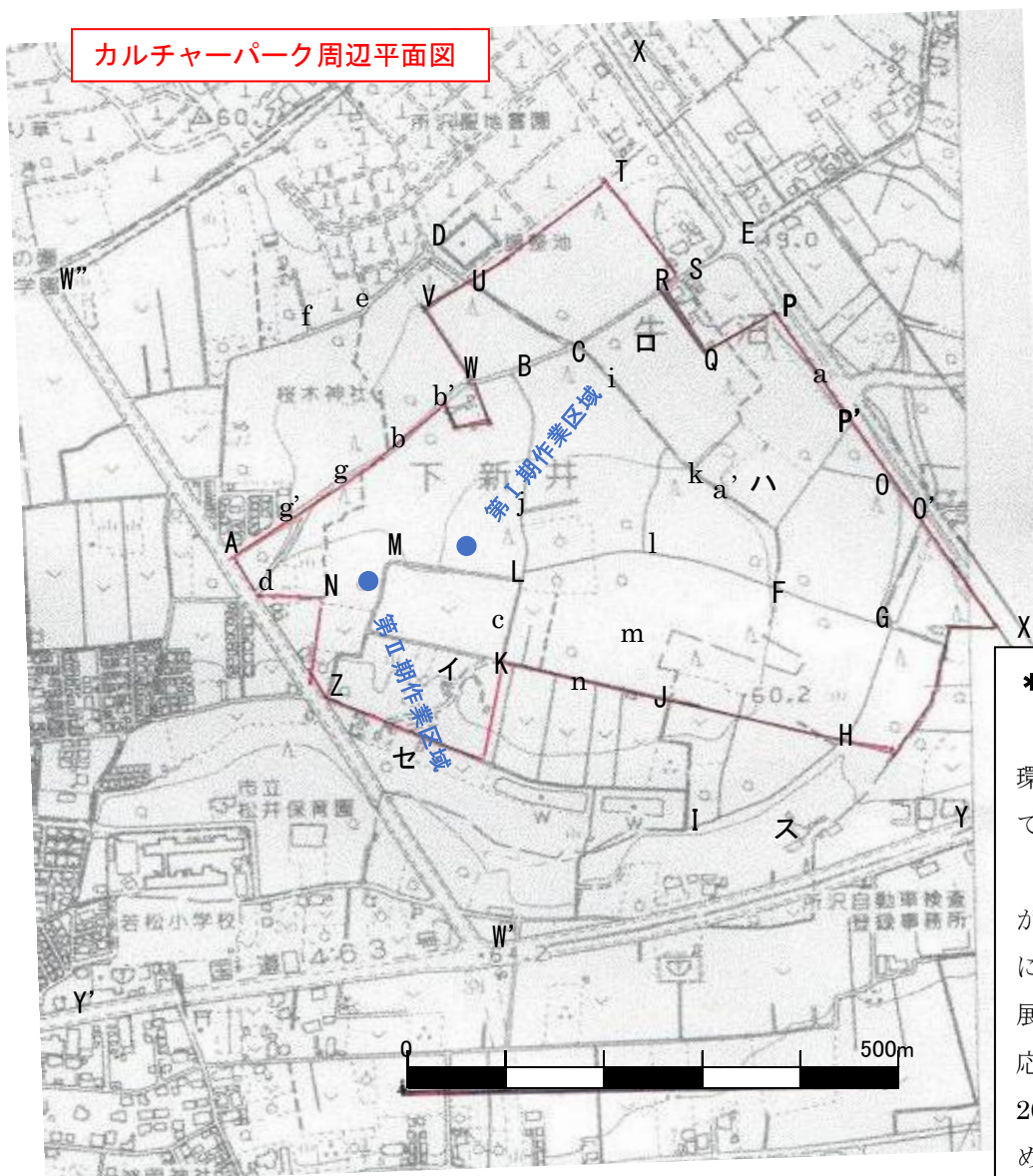
これは、平成5年度施政方針に述べられている「これからのカルチャーパークを考える市民会議を開催してまいります」に基づき開かれたものです。

内容は、コーディネーター(予定者?)による会議構想の説明と、応援隊からの状況聞き取りでした。

参加者は、コーディネーター1名、公園課職員4名、応援隊-役員4名です。

当日の説明資料については、別途送付いたします。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿 地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。